

事業の基礎情報

実施主体	川崎鶴見臨港バス株式会社
事業実施地域	神奈川県川崎市川崎区
共創の類型	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉 ・ こども・子育て ・ 地域・移住
共創パートナー	川崎市まちづくり局交通政策室、川崎区役所まちづくり推進部企画課、三菱商事株式会社、ネクスト・モビリティ株式会社、一般社団法人神奈川県タクシー協会川崎支部、医療法人社団和光会総合川崎臨港病院、特定非営利活動法人キッズアートプロジェクト、一般社団法人大師ONE博
運行形態	AIオンデマンドバス
運行主体	川崎鶴見臨港バス株式会社

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

- ・川崎区内のバス路線は川崎駅から放射状に伸びる路線が大半で南北を縦断する路線開設が望まれているが、採算性の確保が課題。
 - ・バス運転者不足が極めて深刻化し、従来と同様のバス路線維持は困難。
- ⇒・路線バスとAIオンデマンドバスを結節点で乗継連携することにより、川崎区内に面的な交通ネットワークを構築する。
- ・AIオンデマンドバスを有償運行した際の社会受容性の有無を確認し、本格運行時に採算性が確保可能か分析する。

（事業の概要）

- ・商業施設と連携して乗継拠点を整備し、路線バスとの乗継を促進することでのーとの運行エリア外にも実証実験の効果を波及させる。
 - ・利用者から運賃収入を得るとともに、各共創パートナーと連携してスポンサーを獲得し、持続可能な運行体制を作る。
 - ・AIオンデマンドバスのノウハウを持つ企業と川崎区に合った新モビリティサービスを共創し、運転者不足による地域交通の崩壊を防ぐ。
- ⇒上記の施策を掛け合わせることで、川崎区内の実証実験エリア内外における様々な移動ニーズに対応する。

事業の全体像・共創の仕組み

事業主体

実施主体・運行主体

川崎鶴見臨港バス株式会社

全体統括、AIオンデマンドバスのミーティングポイント選定、調整。AIオンデマンドバスの運行。

川崎市まちづくり局交通政策室

NPO法人との窓口。AIオンデマンドバスのミーティングポイントの調整。

川崎区役所まちづくり推進部企画課

地域団体・住民への事業周知・利用促進。

共創パートナー(オンデマンドバス)

三菱商事株式会社

AIオンデマンドバスに関する業務支援、アドバイザー

ネクスト・モビリティ株式会社

AI活用型オンデマンド交通ソリューション提供

ノウハウ
の教授

運行の
実績データ
提供

共創パートナー(地域団体)

オンデマンドバス運行協力・PR機会の提供

誘客・利用者との交流機会提供

神奈川県タクシー協会川崎支部

川崎エリア内運行タクシー会社との調整。

大師ONE博

子育て世帯向けイベント開催。
子育て世帯への利用促進。

トビラ株式会社

地域住民への利用促進。

NPOキッズアートプロジェクト

入院患者家族や子供たちとの連携、
利用促進。

臨港病院

地域医療の主軸として
医療業界に対するアプローチを行う。

支援

取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

川崎市、川崎区役所、支所などの行政関係をはじめとして、前年度のAIオンデマンドバス実証実験運行をきっかけに連携が始まった商業施設、病院、金融機関、社会福祉団体、子育て団体はもちろんのこと、川崎市内でまちづくり活動を行う団体や地域のコンビニエンスストア店舗などとも新たに協議会を通じて連携し、協働・共創していくことで実証実験の精度を高める。また協議会において、実証実験のPRや利用者へのサポートなどが期待できる。

(実証事業により見込まれる効果)

- ・少ない台数の車両で多くの移動ニーズに対応でき、深刻な運転者不足のなかで限られたリソースを最大限に活かした運行が可能となる。
 - ・昨年度運行と比べて運行時間を30分延長することにより、利用者の利便性向上が図られるとともに新たな利用者層の獲得を見込む。
 - ・AIオンデマンドバスだけではカバーできないニーズに対しては、既存の路線バスとの乗継拠点を整備することによりそのニーズに対応する。
- ⇒乗継拠点は運行エリア内のコンビニエンスストアとすることで地域の商業分野と連携し、まちのにぎわい創出につなげる。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

		2024年(令和6年)												2025年(令和7年)		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
臨 港 バ ス	補助金手続き関係			申請手続			採択・交付申請(仮)							報告書作成		
	協議会開催	共創メンバー交渉				●				●					●	
	MP関係				MP交渉		MPデザイン検討		MP設置							
	車両						車両デザイン校正・架装	車両購入								
	広報・住民周知						チラシ・HP・アンケート案検討				HP掲載・チラシ配布・説明会				アンケート集約	
	乗務員・管理者教習															
川 崎 市 区	実証運行											オンデマンドバス運行				
	協議会参加					●				●					●	
	共創メンバー・MP調整	共創メンバー交渉			MP交渉										アンケート集約	
ク 三 菱 商 事 ・ モ ビ ネ	住民周知・広報・報道対応						チラシ・報道案検討				HP掲載・チラシ配布・説明会					
	協議会参加					●				●					●	
	MP確認・マップ調整			MP確認			運行マップ校正									
	乗務員・管理者教習															
	実証運行												運行補助(システム面)			
地 域 団 体	実証運行終了後														実験データ分析	
	協議会参加					●				●					●	
	広報・住民周知										チラシ配布・利用者への説明					
	実証実験終了後														利用者意見フィードバック	

(補助事業実施後の予定)

- 今回のAIオンデマンドバス実証実験運行の結果を踏まえて課題の洗い出しを行い、目標とする次年度以降の本格運行の事業性の検証および運行内容の決定を行う。
- 目標とする次年度以降の本運行実施に向け、運賃収入を得るとともに共創パートナーと協力して広告費や協賛金を獲得することにより、補助事業終了後においても持続的に事業を実施していくことが可能な体制の構築を目指す。
- 実証実験の結果を協議会や行政と共有し、BRTや路線バスなど様々な交通モードの連携をさらに高度化し、AIオンデマンドバスに限らず継続的な新モビリティサービスの取り組みに繋げる。